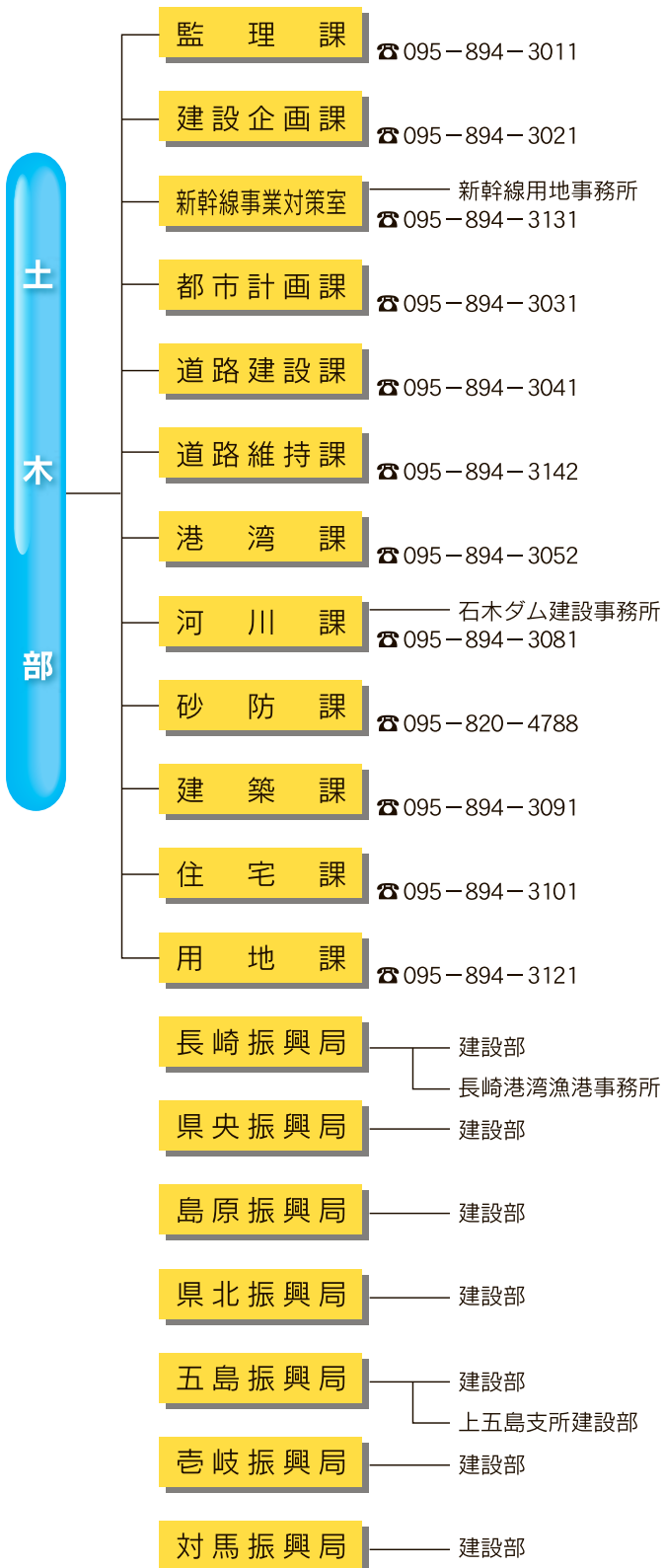


資料

1 県土木部の組織

～組織及び関係職員現員表～

(1) 土木部機構図



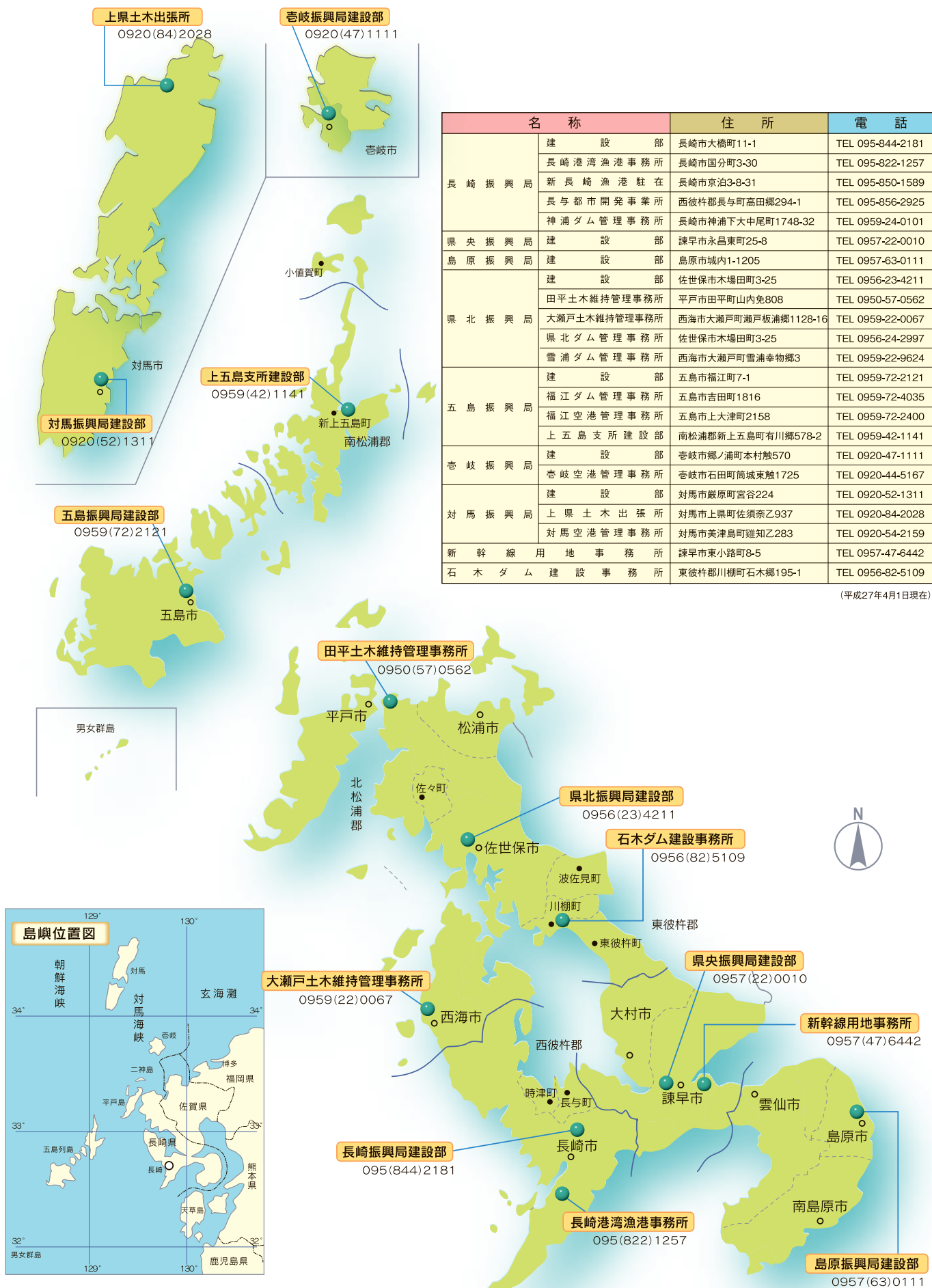
(2) 土木部関係職員現員表

(平成27年4月15日現在)

所 属	事務職員	技術職員	現業職員	合 計
監 理 課	22	10	0	32
建 設 企 画 課	4	23	0	27
新幹線事業対策室	2	3	0	5
都 市 計 画 課	7	16	0	23
道 路 建 設 課	5	14	0	19
道 路 維 持 課	3	10	0	13
港 湾 課	11	19	0	30
河 川 課	12	15	0	27
砂 防 課	0	9	0	9
建 築 課	7	34	0	41
住 宅 課	6	14	0	20
用 地 課	14	0	0	14
本 庁 計	93	167	0	260
長崎振興局建設部	27	61	2	90
長崎振興局長崎港湾漁港事務所	28	25	1	54
県央振興局建設部	15	44	2	61
島原振興局建設部	15	29	3	47
県北振興局建設部	38	100	8	146
五島振興局建設部	16	19	2	37
上五島支所建設部	7	16	2	25
壱岐振興局建設部	10	14	1	25
対馬振興局建設部	18	28	5	51
新幹線用地事務所	22	0	0	22
石木ダム建設事務所	6	4	0	10
地 方 機 関 計	202	340	26	568
合 計	295	507	26	828

※併任職員を除く

2 地方機関管内図



3 平成27年度県土木部予算の概要

1 平成27年度土木部関係予算の概要

(単位：千円、%)

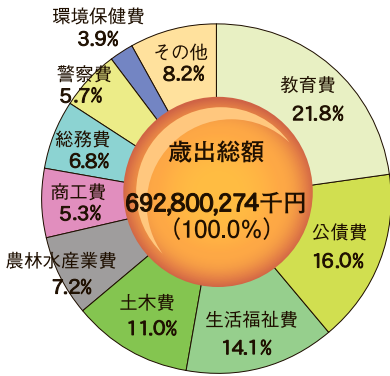
区 分	平成26年度予算額		平成27年度予算額		比 較	
	事業費(B)	構成比	事業費(B)	構成比	増減額(C)[(B)-(A)]	増減率(B)/(A)
2 総務費	7,617,964	7.32	9,716,159	10.55	2,098,195	127.54
2 企画費	7,617,964	7.32	9,716,159	10.55	2,098,195	127.54
1 企画総務費	169,940	0.16	203,263	0.22	33,323	119.61
6 交通政策費	7,448,024	7.16	9,512,896	10.33	2,064,872	127.72
8 土木費	78,981,226	75.89	76,492,440	83.06	△ 2,488,786	96.85
1 土木管理費	2,379,925	2.29	2,341,417	2.54	△ 38,508	98.38
1 土木総務費	916,709	0.88	831,275	0.90	△ 85,434	90.68
2 用地総務費	848,452	0.82	753,331	0.82	△ 95,121	88.79
3 建築指導費	614,764	0.59	756,811	0.82	142,047	123.11
2 道路橋りょう費	39,801,049	38.24	39,115,499	42.47	△ 685,550	98.28
1 道路橋りょう総務費	571,602	0.55	581,846	0.63	10,244	101.79
2 道路維持費	11,864,647	11.40	10,537,046	11.44	△ 1,327,601	88.81
3 道路舗装費	4,586,019	4.41	3,466,019	3.76	△ 1,120,000	75.58
4 道路改良費	19,863,994	19.08	21,566,002	23.42	1,702,008	108.57
5 橋りょう費	2,914,787	2.80	2,964,586	3.22	49,799	101.71
3 河川海岸費	15,293,704	14.69	15,693,826	17.04	400,122	102.62
1 河川海岸総務費	688,784	0.66	648,982	0.70	△ 39,802	94.22
2 河川費	4,601,119	4.42	4,489,842	4.88	△ 111,277	97.58
3 河川開発費	3,116,827	2.99	3,155,143	3.43	38,316	101.23
4 砂防費	6,115,461	5.88	6,540,814	7.10	425,353	106.96
5 海岸費	771,513	0.74	859,045	0.93	87,532	111.35
4 港湾空港費	8,215,246	7.89	8,196,931	8.90	△ 18,315	99.78
1 港湾空港総務費	572,784	0.55	576,783	0.63	3,999	100.70
2 港湾費	6,731,260	6.47	6,106,055	6.63	△ 625,205	90.71
3 空港費	911,202	0.87	1,514,093	1.64	602,891	166.16
5 都市計画費	9,715,705	9.34	8,052,459	8.75	△ 1,663,246	82.88
1 都市計画総務費	145,377	0.14	189,016	0.21	43,639	130.02
2 都市改造費	8,793,886	8.45	7,207,304	7.83	△ 1,586,582	81.96
3 公園費	776,442	0.75	656,139	0.71	△ 120,303	84.51
6 住宅費	3,575,597	3.44	3,092,308	3.36	△ 483,289	86.48
1 住宅総務費	151,594	0.15	144,927	0.16	△ 6,667	95.60
2 住宅整備費	3,424,003	3.29	2,947,381	3.20	△ 476,622	86.08
11 災害復旧費	2,175,000	2.09	2,175,000	2.37	0	100.00
2 公共土木施設災害復旧費	2,175,000	2.09	2,175,000	2.37	0	100.00
1 河川等災害復旧費	2,160,000	2.08	2,160,000	2.35	0	100.00
3 港湾災害復旧費	15,000	0.01	15,000	0.02	0	100.00
12 公債費	76,514	0.07	154,065	0.17	77,551	皆増
1 公債費	76,514	0.07	154,065	0.17	77,551	皆増
1 元利償還金	76,514	0.07	154,065	0.17	77,551	皆増
一般会計合計	88,850,704	85.37	88,537,664	96.15	△ 313,040	99.65
港湾施設整備特別会計	4,119,889	3.96	3,448,024	3.75	△ 671,865	83.69
港湾整備事業会計	11,100,904	10.67	86,575	0.10	△ 11,014,329	0.78
合 計	104,071,497	100.00	92,072,263	100.00	△ 11,999,234	88.47

平成27年度 土木部関係予算の新規事業

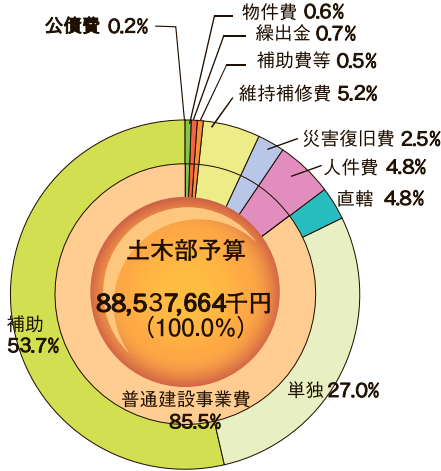
事業名	27年度当初	事業内容	担当課
新規 長崎型移住促進 空き家活用事業費	4,000千円	県外からのUIターン希望者等向けに活用される、空き家の改修工事について補助を実施	住宅課
新規 災害避難 アシスト事業費	13,130千円	テレビ、ラジオ等のメディアを通じ、防災活動に不可欠な各種情報を配信するシステムを構築し、住民の安全な避難行動を支援する。さらに、平時からの啓発活動の充実を図ることで防災意識の向上を図る	砂防課
新規 原発避難道路 調査事業費	5,000千円	原子力災害発生時に想定される避難道路について、既存の避難シミュレーションの結果を基に、避難時に発生する問題点や課題の整理を行った上で、その対応策を検討	道路建設課

2 平成27年度土木部の予算

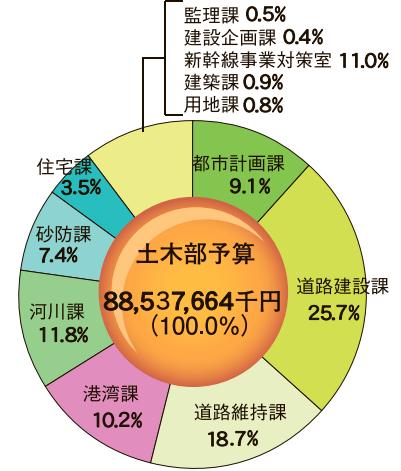
(1) 款別内訳



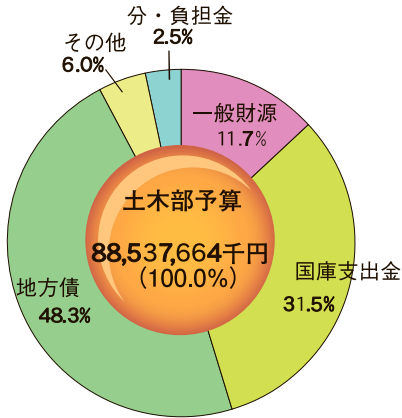
(2) 土木部予算性質別内訳



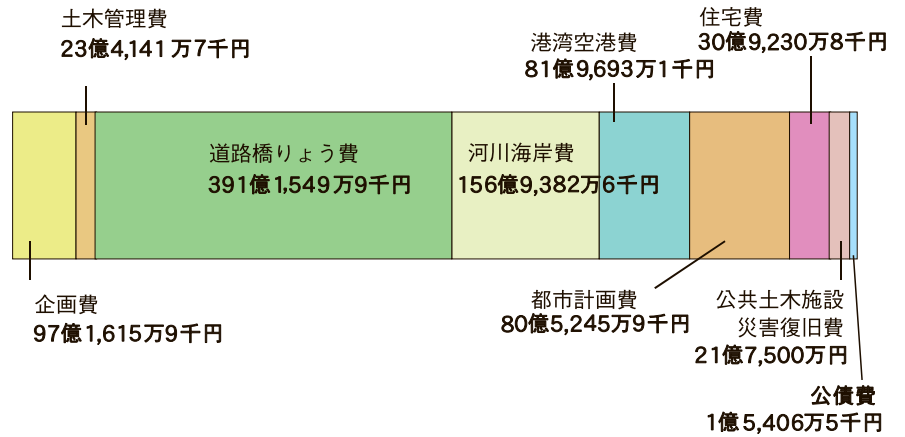
(3) 各課別内訳



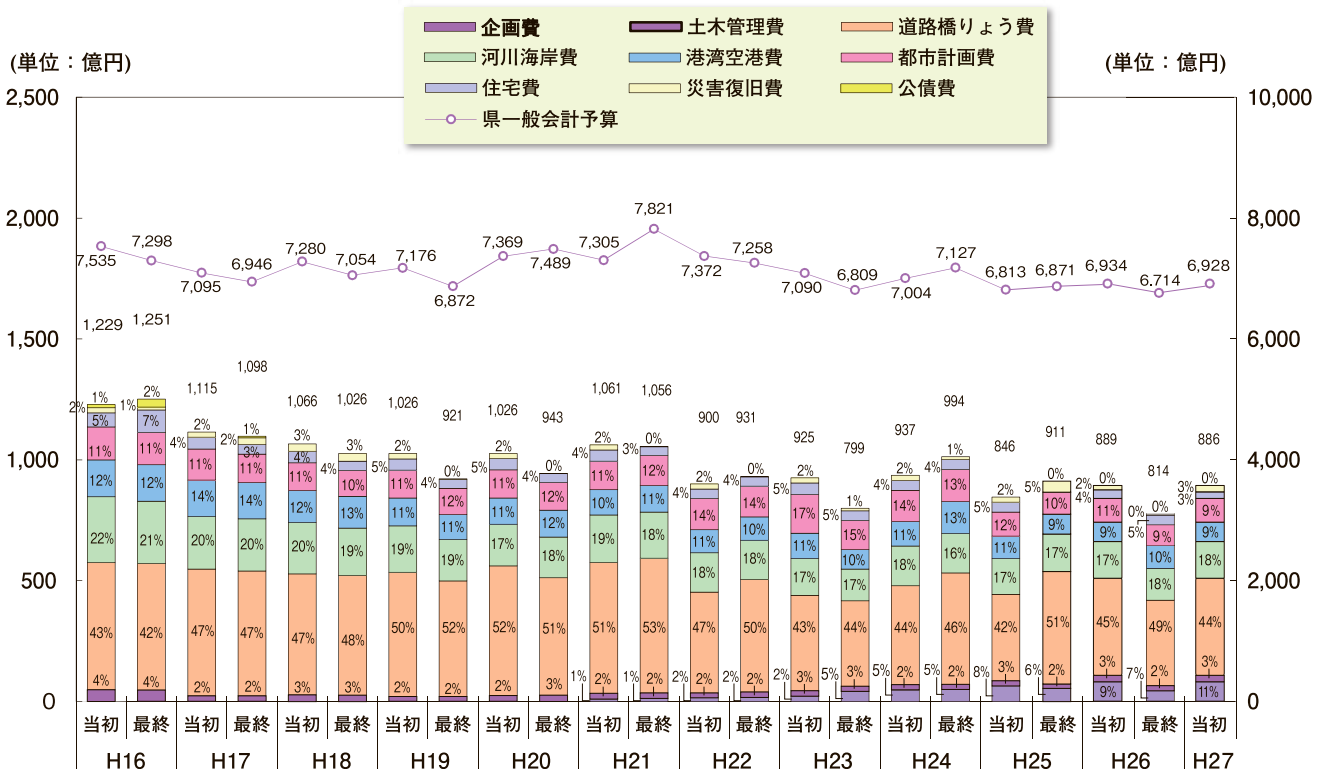
(4) 土木部予算財源内訳



(5) 事業別予算



(6) 土木部当初予算（一般会計）、
県予算（一般会計）の推移



4 長崎県の各種事業の整備状況

長崎県の各種事業の整備状況（全国との比較）

項目	指標	整備状況			箇所数・延長			摘要
		長崎県	全国平均	全国比	長崎県	全国	全国比(%)	
道路(国道・県道)	改良率(%)	71.9	76.2	0.944	185路線	13,838路線	1.3	道路統計年報2014 (H25.4.1現在)
	整備率(%)	57.3	60.4	0.999				
河川	整備率(%)	55.9	—	—	376河川	21,145河川	1.8	H26年度末
海岸(氷管理・国土保全局所管)	整備率(%)	55.4	—	—	288箇所	3,049箇所	9.4	H26年度末(全国箇所数は平成24年度現在)
地すべり	整備率(%)	52.4	—	—	189箇所	—	—	H26年度末
急傾斜	整備率(%)	26.9	—	—	4,157箇所	—	—	H26年度末
土石流危険渓流	整備率(%)	7.8	—	—	2,239箇所	—	—	H26年度末
街路	整備率(%)	68.8	61.8	1.113	605km	73,179km	0.8	H24年度末(全国はH24「都市計画年報」)
都市公園	一人当り公園面積(/人)	13.5	10.1	1.337	1,154	104,099	1.1	H25都市公園等整備現況調査
住宅	公的住宅整備率(%)	6.7	5.4	1.24	—	—	—	H25 住宅・土地統計調査

港湾	指標	長崎県整備状況	箇所数全体	箇所数整備済	長崎県管理の港湾数/81港 H25.3現在
	岸壁整備率(%)	98%	193	189	

- 改良率(道路):規格改良済延長/道路の実延長
- 整備率(道路):整備済延長/道路の実延長 整備済延長=規格改良済延長-混雑度1.0以上の延長
- 整備率(河川、海岸):整備(改修)済延長/整備(改修)が必要な実延長
- (砂防、地すべり、急傾斜):対策済箇所数/危険箇所数(要整備箇所)
- 整備率(街路):整備済延長/都市計画決定延長



長崎県の日本一・世界一(土木部関連)

～長崎県の日本一・世界一 part.11 (平成20年3月、長崎県広報広聴課作成)より抜粋～

グラバー邸	日本最古	文久3年(1863年)建築されたグラバー邸は、現存する木造洋館としては日本最古
大浦天主堂	日本最古	長崎市南山手町の大浦天主堂は、日本に現存する最古の天主堂。慶応元年(1865年)2月19日落成、献堂設計はジラール、フーレ両フランス人神父、施工は小山秀による(国宝指定)
出島橋	日本最古	長崎市の中島川下流に架かる出島橋は明治23年(1890年)に作られ、現役として使用されている鉄橋としては日本最古
高島町端島(軍艦島)の炭坑住宅	日本最古	高島町端島(軍艦島)の炭坑住宅(大正5年(1916年)建設、地上7階、地下1階)は、現存する鉄筋コンクリート造高層アパートとしては日本最古(ただし、現在人は住んでいない)
生月大橋	世界最大	平成3年(1991年)7月完成した生月大橋の中央径間400mは三径間連続トラス橋としては世界最大
オランダ商館	日本初	慶長14年(1609年)、平戸市に建設されたオランダ商館は、日本で初めて作られたヨーロッパ様式の建物
興福寺	日本初	元和9年(1623年)、長崎在留の唐人たちが宗教行事を行う場として創建したのが興福寺の始まりで、日本で最初の唐寺
近代都市計画	日本初	万延元年(1860年)11月、大浦埋め立て地に、外国人の設計による地割りが行われ、道路幅、敷地寸法をそろえ、下水路を設けた。整然とした都市計画が横浜よりも一足早く行われた。
アスファルト道路	日本初	長崎市のグラバー園内のリンガー邸前の林の中のアプローチは、イギリス人の貿易商トーマス・B・グラバーの息子・倉場富三郎がつくらせた日本初のアスファルト道路。
眼鏡橋	日本初	寛永11年(1634年)、唐僧黙子如定(もくすによしよう)により架けられた眼鏡橋は、日本初のアーチ構造石橋
鐵橋	日本初	長崎市浜町と築町の間に架かる鐵(くろがね)橋は、明治元年(1868年)8月1日完成した日本最初の鉄橋(現在の橋は改築されたもの)
西海橋	日本初	佐世保市針尾と西彼半島を結ぶ西海橋は、我が国初の上路式プレストアーチ橋(総延長316.26m、中央径間216m)。昭和30年(1955年)10月完成で、我が国初の有料橋
長崎空港	世界初	昭和50年(1975年)5月に開港した長崎空港は、大村湾に浮かぶ箕島(みしま)周辺を造成してつくられた世界初の本格的な海上空港。